

2 指導要録（指導に関する記録・中学校）

生徒氏名	学校名	区分	学年	1	2	3
			学級			
			整理番号			

各教科の学習の記録

教科	観 点	学 年	1	2	3	評 価																
国語	知識・技能					<p>令和2年度までの道徳科の評価欄については、「総合所見及び指導上参考となる諸事項」の欄と明確に分け、道徳科単独の評価の記述欄であることがわかるように示す。その際、「道徳科における学習状況及び及び道徳性に係る成長の様子」等と明示し、教科等の学習状況を記載する頁には、「道徳科における学習状況及び及び道徳性に係る成長の様子は〇〇に記載」というような注釈を示す。</p>																
	思考・判断・表現	<p>観点別学習状況については、中学校学習指導要領に示す各教科の目標に照らして、その実現状況を観点ごとに評価し記入する。その際、「十分満足できる」状況と判断されるものをA、「おおむね満足できる」状況と判断されるものをB、「努力を要する」状況と判断されるものをCのように区別して評価を記入する。 選択教科を実施する場合は、各学校において観点を定め、記入する。</p>																				
	主体的に学習に取り組む態度																					
評定																						
社会	知識・技能					<p style="text-align: center;">特別の教科 道徳</p> <p>学年 学習状況及び道徳性に係る成長の様子</p>																
	思考・判断・表現	<p>道徳科の評価については、28文科初第604号「学習指導要領の一部改正に伴う小学校、中学校及び特別支援学校小学部・中学部における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について（通知）」に基づき、学習活動における生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を個人内評価として文章で端的に記述する。</p>																				
	主体的に学習に取り組む態度																					
評定																						
数学	知識・技能					<p>1</p> <p>2</p> <p>3</p>																
	思考・判断・表現																					
	主体的に学習に取り組む態度																					
理科	知識・技能					<p style="text-align: center;">総合的な学習の時間の記録</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>学習活動</th> <th>観 点</th> <th>評 価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	学年	学習活動	観 点	評 価	1				2				3			
	学年	学習活動	観 点	評 価																		
	1																					
2																						
3																						
思考・判断・表現	<p>評定については、中学校学習指導要領等に示す各教科の目標に照らして、その実現状況を総括的に評価し記入する。 各教科の評定は、中学校学習指導要領に示す各教科の目標に照らし、その実現状況を「十分満足できるものうち、特に程度が高い」状況と判断されるものを5、「十分満足できる」状況と判断されるものを4、「おおむね満足できる」状況と判断されるものを3、「努力を要する」状況と判断されるものを2、「一層努力を要する」状況と判断されるものを1のように区別して評価を記入する。 選択教科を実施する場合は、各学校が評定の段階を決定し記入する。 評定に当たっては、評定は各教科の学習の状況を総括的に評価するものであり、「観点別学習状況」において掲げられた観点は、分析的な評価を行うものとして、各教科の評定を行う場合において基本的な要素となるものであることに十分留意する。その際、評定の適切な決定方法については、各学校において定める。</p>																					
主体的に学習に取り組む態度																						
評定																						
音楽	知識・技能					<p>総合的な学習の時間については、この時間に行った学習活動及び各学校が自ら定めた評価の観点を記載した上で、それらの観点のうち、生徒の学習状況に顕著な事項がある場合などにその特徴を記入するなど、生徒にどのような力が身に付いたかを文章で端的に記述する。</p>																
	思考・判断・表現																					
	主体的に学習に取り組む態度																					
美術	知識・技能					<p>2</p>																
	思考・判断・表現																					
	主体的に学習に取り組む態度																					
保健体育	知識・技能					<p>3</p>																
	思考・判断・表現																					
	主体的に学習に取り組む態度																					
技術・家庭	知識・技能					<p style="text-align: center;">特別活動の記録</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>評 価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学級活動</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;"> <p>特別活動の記録については、各学校が自ら定めた特別活動全体に係る評価の観点を記入した上で、各活動・学校行事ごとに、評価の観点に照らして十分満足できる活動の状況にあると判断される場合に、〇印を記入する。 評価の観点については、学習指導要領等に示す目標を踏まえ、各学校において定める。その際、特別活動の特質や学校として重点化した内容を踏まえ、より具体的に定めることも考えられる。</p> </td> </tr> <tr> <td>生徒会活動</td> </tr> <tr> <td>学校行事</td> </tr> </tbody> </table>	内 容	評 価	学級活動	<p>特別活動の記録については、各学校が自ら定めた特別活動全体に係る評価の観点を記入した上で、各活動・学校行事ごとに、評価の観点に照らして十分満足できる活動の状況にあると判断される場合に、〇印を記入する。 評価の観点については、学習指導要領等に示す目標を踏まえ、各学校において定める。その際、特別活動の特質や学校として重点化した内容を踏まえ、より具体的に定めることも考えられる。</p>	生徒会活動	学校行事										
	内 容	評 価																				
	学級活動	<p>特別活動の記録については、各学校が自ら定めた特別活動全体に係る評価の観点を記入した上で、各活動・学校行事ごとに、評価の観点に照らして十分満足できる活動の状況にあると判断される場合に、〇印を記入する。 評価の観点については、学習指導要領等に示す目標を踏まえ、各学校において定める。その際、特別活動の特質や学校として重点化した内容を踏まえ、より具体的に定めることも考えられる。</p>																				
生徒会活動																						
学校行事																						
思考・判断・表現																						
主体的に学習に取り組む態度																						
評定																						
外国語	知識・技能					<p>1</p>																
	思考・判断・表現																					
	主体的に学習に取り組む態度																					
評定																						

生徒氏名

行動の記録については、各教科、道徳科、総合的な学習の時間、特別活動やその他学校生活全体にわたって認められる生徒の行動について、設置者は、項目を適切に設定する。また、学校において、自らの教育目標に沿って項目を追加できるようにする。
各学校における評価に当たっては、各項目の趣旨に照らして十分満足できる状況にあると判断される場合には、○印を記入する。

行 動 の 記 録									
項 目	学 年	1	2	3	項 目	学 年	1	2	3
基本的な生活習慣					思いやり・協力				
健康・体力の向上					生命尊重・自然愛護				
自主・自律					勤労・奉仕				
責任感					公正・公平				
創意工夫					公共心・公德心				

総 合 所 見 及 び 指 導 上 参 考 と な る 諸 事 項	
第1学年	<p>総合所見及び指導上参考となる諸事項については、生徒の成長の状況を総合的にとらえるため、以下のような事項等を文章で箇条書き等により端的に記述すること。特に5のうち、生徒の特徴・特技や学校外の活動等については、今後の学習指導等を進めていく上で必要な情報に精選して記述する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 各教科や総合的な学習の時間の学習に関する所見 2. 特別活動に関する事実及び所見 3. 行動に関する所見 4. 生徒の特徴・特技、部活動、学校内外におけるボランティア活動など社会奉仕体験活動、表彰を受けた行為や活動、学力について標準化された検査の結果等指導上参考となる諸事項 5. 生徒の成長の状況にかかわる総合的な所見 <p>記入に際しては、生徒の優れている点や長所、進歩の状況などを取り上げることに留意する。ただし、生徒の努力を要する点などについても、その後の指導において特に配慮を要するものがあれば端的に記入する。</p> <p>さらに、障がいのある生徒や日本語の習得に困難のある生徒のうち、通級による指導を受けている生徒については、通級による指導を受けた学校名、通級による指導の授業時数、指導の期間、指導の内容や結果等を端的に記入する。通級による指導の対象になっていない生徒で、教育上特別な支援を必要とする場合については、必要に応じ、効果があったと考えられる指導方法や配慮事項を端的に記入する。なお、これらの生徒について個別の指導計画を作成している場合において当該指導計画に上記にかかわる記載がなされている場合には、その写しを指導要録の様式に添付することをもって指導要録への記入に替えることも可能である。</p>
第2学年	
第3学年	

出 欠 の 記 録						
区分	授業日数	出席停止・ 忌引等の日数	出席しなれば ならない日数	欠席日数	出席日数	備 考
1						
2						
3						

生徒の属する学年について授業を実施した年間の総日数を記入する。学校保健安全法第20条の規定に基づき、臨時に、学校の全部又は学年の全部の休業を行うこととした日数は授業日数には含めない。
この授業日数は、原則として、同一学年のすべての生徒につき同日数とすることが適当である。ただし、転学又は退学等をした生徒については、転学のため学校を去った日又は退学等をした日までの授業日数を記入し、転入学又は編入学等をした生徒については、転入学又は編入学等をした日以後の授業日数を記入する。